

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人明治大学

## (2) 大学名

明治大学大学院

## (3) 大学の位置

【生田キャンパス】〒214-8571  
神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1

【中野キャンパス】〒164-8525  
東京都中野区中野4-21-1

(〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	( ヤナギヤ タカシ ) 柳谷 孝 (平成28年5月10日)		
学長	( ツチヤ ケイイチロウ ) 土屋 恵一郎 (平成28年4月1日)		
大学院長	( サカモト ツネオ ) 坂本 恒夫 (平成28年4月1日)	( イシカワ マサト ) 石川 幹人 (平成30年4月1日)	大学院長交代 (30)
研究科長	( クボタ ヒサオ ) 久保田 寿夫 (平成28年6月16日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
理工学研究科 建築・都市学専攻 (博士前期課程) 修士(工学・建築学・学術)	工学関係	年	人	人	基礎となる学部等  理工学部 建築学科
		2	80	160	

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	平成28年度	平成29年度	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 80 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	人 80 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	1.02倍	
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	99 ( - ) [ 22 ]	- ( - ) [ - ]	113 ( - ) [ 37 ]	- ( - ) [ - ]		
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	98 ( - ) [ 21 ]	- ( - ) [ - ]	107 ( - ) [ 32 ]	- ( - ) [ - ]		
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	89 ( - ) [ 13 ]	- ( - ) [ - ]	95 ( - ) [ 21 ]	- ( - ) [ - ]		
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	82 ( - ) [ 10 ]	- ( - ) [ - ]	83 ( - ) [ 17 ]	- ( - ) [ - ]		
入学定員超過率 B/A			1.02		1.03			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[ ] ( )	[ ] ( )	82 [ 10 ] ( - )	- [ - ] ( - )	83 [ 17 ] ( - )	- [ - ] ( - )	
2 年次	/		- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	82 [ 10 ] ( - )	- [ - ] ( - )	
3 年次			/				[ ] ( )
計	[ ] ( )				82 [ 10 ] ( - )		165 [ 27 ] ( - )

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
平成28年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
平成29年度	82 人	0 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
平成30年度	165 人	0 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
合計	247 人	0 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{82} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{165} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<理工学研究科 建築・都市学専攻（博士前期課程）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
必修科目	建築学系主要科目	建築・都市計画設計研究1	1前	2			4	2	1				
		建築・都市計画設計研究2	1後	2			4	2	1				
		建築・都市計画設計研究3	2前	4			4	2	1				
		建築・都市計画設計研究4	2後	4			4	2	1				
		建築構造・建築材料研究1	1前	2			5	1	1				
		建築構造・建築材料研究2	1後	2			5	1	1				
		建築構造・建築材料研究3	2前	4			5	1	1				
		建築構造・建築材料研究4	2後	4			5	1	1				
		建築環境・建築設備研究1	1前	2			2	2					
		建築環境・建築設備研究2	1後	2			2	2					
		建築環境・建築設備研究3	2前	4			2	2					
		建築環境・建築設備研究4	2後	4			2	2					
	総合芸術系主要科目	総合芸術研究1	1前	2			3	2					
		総合芸術研究2	1後	2			3	2					
		総合芸術研究3	2前	4			3	2					
		総合芸術研究4	2後	4			3	2					
選択必修科目	建築学系特修科目	建築史特論	1前	2								1	
		建築構法計画特論	1前	2					1				
		まちづくり特論	1後	2			1					1	
		近代建築史特論	1前	2								1	
		建築意匠特論	1前	2			1						
		都市史特論	1後	2				1					
		建築計画特論	1前	2			2						
		都市計画特論	1前	2			1						
		建築マネジメント特論	1後	2								1	
		都市解析特論	1前	2								1	
		設計スタジオA	1前	4			1					2	
		設計スタジオB	1後	4			1	1	1			1	
		設計スタジオC	1前	4			1	1				1	
		インターンシップ(意匠)	1前	4			1						
		構造性能特論	1前	2			1						
		木質構造特論	1前	2				1					
		鉄筋コンクリート構造特論	1後	2			1						
		先端建築特論	1後	2			1						
		鋼構造特論	1前	2								1	
		シェル・空間構造特論	1後	2					1				
耐震構造特論	1後	2			1								
建築振動特論	1前	2			1								
建築材料特論	1前	2			1								
資源循環特論	1後	2			1								
建築施工特論	1後	2								1			
構造設計演習A	1前	2								1			
構造設計演習B	1後	2								1			
インターンシップ(構造)	1前	4			1								
建築環境工学特論	1前	2			1								
建築環境解析特論	1後	2			1								
建築環境評価特論	1前	2				1							

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
必修科目	建築学系主要科目	建築・都市計画設計研究1	1前	2			5	1	1			
		建築・都市計画設計研究2	1後	2			5	1	1			
		建築・都市計画設計研究3	2前	4			5	1	1			
		建築・都市計画設計研究4	2後	4			5	1	1			
		建築構造・建築材料研究1	1前	2			4	2	0			
		建築構造・建築材料研究2	1後	2			4	2	0			
		建築構造・建築材料研究3	2前	4			4	2	0			
		建築構造・建築材料研究4	2後	4			4	2	0			
		建築環境・建築設備研究1	1前	2			3	1				
		建築環境・建築設備研究2	1後	2			3	1				
		建築環境・建築設備研究3	2前	4			3	1				
		建築環境・建築設備研究4	2後	4			3	1				
	総合芸術系主要科目	総合芸術研究1	1前	2			4	1				
		総合芸術研究2	1後	2			4	1				
		総合芸術研究3	2前	4			4	1				
		総合芸術研究4	2後	4			4	1				
選択必修科目	建築学系特修科目	建築史特論(未開講)	1前	2								1
		建築構法計画特論(未開講)	1前	2						1		
		まちづくり特論	1後	2			1					1
		近代建築史特論	1前	2								1
		建築意匠特論	1前	2			1					
		都市史特論(未開講)	1後	2				1	0			
		建築計画特論	1前	2			2					
		都市計画特論	1前	2			1					
		建築マネジメント特論	1後	2								1
		都市解析特論	1前	2								1
		設計スタジオA	1前	4			1					2
		設計スタジオB	1後	4			2	0	0			1
		設計スタジオC	1前	4			1	1				1
		インターンシップ(意匠)	1前	4			1					
		構造性能特論	1前	2			1					
		木質構造特論	1前	2				1				
		鉄筋コンクリート構造特論	1前	2			1					
		先端建築特論	1後	2			1					
		鋼構造特論	1前	2								1
		シェル・空間構造特論	1後	2				1	0			
耐震構造特論(未開講)	1後	2			1							
建築振動特論	1後	2			1							
建築材料特論	1前	2			1							
資源循環特論	1後	2			1							
建築施工特論	1後	2								1		
構造設計演習A	1前	2								1		
構造設計演習B	1後	2								1		
インターンシップ(構造)	1前	4			1							
建築環境工学特論	1前	2			1							
建築環境解析特論	1後	2			1							
建築環境評価特論	1前	2			1	0						

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
選択必修科目	建築学系特修科目	建築水環境特論	1前	2		1						
		給排水設備特論	1後	2		1						
		建築音響特論	1後	2			1					
		設備計画特論	1後	2			1					
		空調設備特論	1前	2			1					
		建築設備設計演習	1後	4								1
	インターンシップ(設備)	1前	4			1						
	国際建築都市デザイン系特修科目	Independent Study A	1前	2		1	1					
		Independent Study B	1後	2		1	1					
		Advanced Design Studio A	1前	6		1	1					1
		Advanced Design Studio B	1後	6		3	1					2
		Advanced Design Studio C	2前	6		2						2
		Advanced Architectural Design	1前	2		1						
		Advanced Urban Design	1前	2			1					
		Urban and Architectural History	1前	2			1					
		Advanced Sustainable Design	1前	2		1						
		Advanced Project Management	1後	2								1
	総合芸術系特修科目	アート造形学	1後	2		1						
		デザインアート史	1前	2								1
メディア図書館論		1後	2								1	
映像文化特論		1後	2		1							
音楽コンテンツ特論		1前	2								1	
写真コンテンツ特論		1後	2								1	
社会表象特論		1前	2								1	
文芸コンテンツ特論		1前	2			1						
アーカイブコンテンツ特論		1前	2		1							
コンテンツ批評特論		1前	2		1							
プレゼンテーション法		1後	2			1						
映画と都市		1前	2		1							
文学と都市		1後	2		1							
環境と人文学	1前	2			1							
環境とデザイン	1前	2			1							
総合芸術特論	1後	2		1								
共通総合科目	科学論文英語特論	1後	2								2	
	理工学研究科総合講義A	1前	2								1	
	理工学研究科総合講義B	1前	2								1	
	学際領域特論A	1後	2								1	
	学際領域特論B	1前	2								1	
自由科目	理工学研究科基礎特論A	1前・後		2	1							
	理工学研究科基礎特論B	1前・後		2	1							
	理工学研究科基礎特論C	1前・後		2	1							
	理工学研究科基礎特論D	1前・後		2	1							
	理工学研究科基礎特論E	1前・後		2	1							

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
選択必修科目	建築学系特修科目	建築水環境特論	1前	2		1						
		給排水設備特論	1後	2		1						
		建築音響特論	1後	2		1	0					
		設備計画特論	1後	2			1					
		空調設備特論	1前	2			1					
		建築設備設計演習	1後	4								1
	インターンシップ(設備)	1前	4			1	0					
	国際建築都市デザイン系特修科目	Independent Study A	1前	2		0	1					
		Independent Study B	1後	2		0	1					
		Advanced Design Studio A	1前	6		1	1					0
		Advanced Design Studio B	1後	6		1	2					1
		Advanced Design Studio C	2前	6		1	1					2
		Advanced Architectural Design	1前	2		1						
		Advanced Urban Design	1前	2			1					
		Urban and Architectural History	1前	2			1	0				
		Advanced Sustainable Design	1前	2		1						
		Advanced Project Management	1後	2								1
	総合芸術系特修科目	アート造形学	1後	2		1						
		デザインアート史 <small>(未開講)</small>	1前	2								1
メディア図書館論		1後	2								1	
映像文化特論		1後	2		1							
音楽コンテンツ特論		1前	2								1	
写真コンテンツ特論		1後	2								1	
社会表象特論		1前	2								1	
文芸コンテンツ特論		1前	2			1	0					
アーカイブコンテンツ特論		1前	2		1							
コンテンツ批評特論		1前	2		1							
プレゼンテーション法		1後	2			1	0					
映画と都市		1前	2		1							
文学と都市		1後	2		1							
環境と人文学	1前	2			1							
環境とデザイン	1後	2			1							
総合芸術特論	1前	2		1								
共通総合科目	科学論文英語特論	1後	2								2	
	理工学研究科総合講義A	1前	2								1	
	理工学研究科総合講義B	1前	2								1	
	学際領域特論A	1後	2								1	
	学際領域特論B	1前	2								1	
自由科目	理工学研究科基礎特論A <small>(未開講)</small>	1前・後		2	1							
	理工学研究科基礎特論B <small>(未開講)</small>	1前・後		2	1							
	理工学研究科基礎特論C <small>(未開講)</small>	1前・後		2	1							
	理工学研究科基礎特論D <small>(未開講)</small>	1前・後		2	1							
	理工学研究科基礎特論E <small>(未開講)</small>	1前・後		2	1							

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
必修科目	建築学系主要科目	建築・都市計画設計研究1	1前	2			4	2	1				
		建築・都市計画設計研究2	1後	2			4	2	1				
		建築・都市計画設計研究3	2前	4			4	2	1				
		建築・都市計画設計研究4	2後	4			4	2	1				
		建築構造・建築材料研究1	1前	2			5	2	0				
		建築構造・建築材料研究2	1後	2			5	2	0				
		建築構造・建築材料研究3	2前	4			5	2	0				
		建築構造・建築材料研究4	2後	4			5	2	0				
		建築環境・建築設備研究1	1前	2			3	1					
		建築環境・建築設備研究2	1後	2			3	1					
		建築環境・建築設備研究3	2前	4			3	1					
		建築環境・建築設備研究4	2後	4			3	1					
		Architectures and Urban Design Studies1	1前	2			3	2					
		Architectures and Urban Design Studies2	1後	2			3	2					
		Architectures and Urban Design Studies3	2前	2			3	2					
		Architectures and Urban Design Studies4	2後	6			3	2					
総合芸術系主要科目	総合芸術研究1	1前	2			3	2						
	総合芸術研究2	1後	2			3	2						
	総合芸術研究3	2前	4			3	2						
	総合芸術研究4	2後	4			3	2						
選択必修科目	建築学系特修科目	建築史特論	1前	2								1	
		建築構法計画特論	1前	2					1				
		まちづくり特論	1後	2				1					
		近代建築史特論(未開講)	1前	2								1	
		建築意匠特論(未開講)	1前	2			1						
		都市史特論	1後	2				1					
		建築計画特論	1前	2			2						
		都市計画特論	1前	2			1						
		建築マネジメント特論	1後	2								1	
		都市解析特論(未開講)	1前	2								0	
		設計スタジオA	1前	4			1					2	
		設計スタジオB	1後	4			1	0	1				
		設計スタジオC	1前	4			1	1				1	
		インターンシップ(意匠)	1前	4			1						
		構造性能特論	1前	2			1						
		木質構造特論	1前	2				1					
		鉄筋コンクリート構造特論	1後	2			1						
		先端建築特論	1後	2			1						
		鋼構造特論	1前	2								1	
		シェル・空間構造特論	1後	2				1	0				
		耐震構造特論	1後	2			1						
		建築振動特論	1前	2			1						
		建築材料特論	1前	2			1						
		資源循環特論(未開講)	1後	2			1						
		建築施工特論	1後	2								1	
		構造設計演習A	1前	2								1	
構造設計演習B	1後	2								1			
インターンシップ(構造)	1前	4			1								
建築環境工学特論	1前	2			1								
建築環境解析特論	1後	2			1								
建築環境評価特論	1前	2			1	0							

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
選択必修科目	建築学系特修科目	建築水環境特論	1前	2		1						
		給排水設備特論	1後	2		1						
		建築音響特論	1後	2		1	0					
		設備計画特論	1後	2			1					
		空調設備特論	1前	2			1					
		建築設備設計演習	1後	4								1
		インターシップ(設備)	1前	4			1	0				
	国際建築都市デザイン系特修科目	Independent Study A	1前	2			0	1				
		Independent Study B	1後	2			0	1				
		Advanced Design Studio A	1前	6			1	2				0
		Advanced Design Studio B	1後	6			2	2				1
		Advanced Design Studio C	2前	6			1					2
		Advanced Architectural Design	1前	2			1					
		Advanced Urban Design	1前	2				1				
		Urban and Architectural History	1前	2				1				
		Advanced Sustainable Design	1前	2			1					
		Advanced Project Management	1後	2								1
	総合芸術系特修科目	アート造形学	1後	2			1					
		デザインアート史	1前	2								1
		メディア図書館論	1後	2								1
映像文化特論		1後	2			1						
音楽コンテンツ特論		1前	2								1	
写真コンテンツ特論		1後	2								1	
社会表象特論		1前	2								1	
文芸コンテンツ特論		1前	2				1					
アーカイブ・コンテンツ特論		1前	2			1						
コンテンツ批評特論		1前	2			1						
プレゼンテーション法		1後	2				1					
映画と都市		1前	2			1						
文学と都市		1後	2			1						
環境と人文学	1前	2				1						
環境とデザイン	1後	2				1						
総合芸術特論	1前	2			1							
共通総合科目郡	科学論文英語特論	1後	2								2	
	理工学研究科総合講義A	1前	2								1	
	理工学研究科総合講義B	1前	2								1	
	学際領域特論A	1後	2								1	
	学際領域特論B	1前	2								1	
自由科目	理工学研究科基礎特論A(未開講)	1前・後		2	1							
	理工学研究科基礎特論B(未開講)	1前・後		2	1							
	理工学研究科基礎特論C(未開講)	1前・後		2	1							
	理工学研究科基礎特論D(未開講)	1前・後		2	1							
	理工学研究科基礎特論E(未開講)	1前・後		2	1							

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。  
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。  
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。  
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)



(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【平成29年度】**

- ・担当者の昇格により、  
 「建築構造・建築材料研究1～4」の専任教員等の配置を「教授5・准教授1・講師1」から「教授5・准教授2」に変更。  
 「建築環境・建築設備研究1～4」の専任教員等の配置を「教授2・准教授2」から「教授3・准教授1」に変更。  
 「シェル・空間構造特論」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。  
 「建築環境評価特論」，「建築音響特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・専任准教授1名の新規着任に伴う担当者変更により、  
 「設計スタジオB」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・講師1」から「教授1・講師1」に変更。  
 「Independent Study A・B」の専任教員等の配置を「教授1，准教授1」から「准教授1」に変更。  
 「Advanced Design Studio A」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・兼任1」から「教授1・准教授2」に変更。  
 「Advanced Design Studio B」の専任教員等の配置を「教授3・准教授1・兼任2」から「教授2・准教授2・兼任1」に変更。
- ・担当者時間数調整のため、「Advanced Design Studio C」の専任教員等の配置を「教授2・兼任2」から「教授1・兼任2」に変更。
- ・カリキュラム都合により、  
 「環境とデザイン」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。  
 「総合芸術特論」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。

**【平成30年度】**

- ・担当者の昇格により、  
 「建築・都市計画設計研究1～4」の専任教員等の配置を「教授4・准教授2・講師1」から「教授5・准教授1・講師1」に変更。  
 「Urban and Architectural History」，「文芸コンテンツ特論」，「プレゼンテーション法」の専任教員等の配置「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当者変更により、「設計スタジオB」の専任教員等の配置を「教授1・講師1」から「教授2」に変更。
- ・専任教授1名の退任により、担当時間数を調整。  
 「Advanced Design Studio A」の専任教員等の配置を「教授1，准教授2」から「教授1，准教授1」に変更。  
 「Advanced Design Studio B」の専任教員等の配置を「教授2，准教授2，兼任1」から「教授1，准教授2，兼任1」に変更。  
 「Advanced Design Studio C」の専任教員等の配置を「教授1，兼任2」から「教授1，准教授1，兼任2」に変更。
- ・カリキュラム都合により、  
 「鉄筋コンクリート構造特論」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。  
 「建築振動特論」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。  
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
20 科目	69 科目	5 科目	94 科目	20 科目 [ - ]	69 科目 [ - ]	5 科目 [ - ]	94 科目 [ - ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

特になし。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{96} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	255,985 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	255,985 m <sup>2</sup>	大学全体		
	運動場用地	164,625 369,974 242,724 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	164,625 369,974 242,724 m <sup>2</sup>	その他には農場、寄宿舎、借用地、附属学校施設を含む。		
	小 計	420,610 625,959 498,709 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	420,610 625,959 498,709 m <sup>2</sup>			
	そ の 他	433,685 548,725 700,753 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	433,685 548,725 700,753 m <sup>2</sup>	区分変更のため (29)		
	合 計	854,295 1,174,684 1,199,462 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	854,295 1,174,684 1,199,462 m <sup>2</sup>	農場売却のため (30)		
(2) 校 舎	専 用	323,489 319,203 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	323,489 319,203 m <sup>2</sup>	大学全体		
	( 323,489 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	( 323,489 m <sup>2</sup> )		改修のため (29)		
(3) 教 室 等	講 義 室	287 282 室	228 209 室	461-451 450 室	29 30室 補助職員 38 39 人	29 15 16 22-室 補助職員 20 24 人	大学全体 改修のため (29) 施設縮小に伴い減員 (29)	
							改修のため (30) 施設縮小に伴い減員 (30)	
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			施設充実のため (30)		
	理工学研究科 建築・都市学専攻		27 26 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学共有分図書数 2,682,764 [919,668] 学術雑誌数 38,330 [13,308] 電子ジャーナル数 14,044 [14,031] 視聴覚資料は大学全体	
		[うち外国書]	[うち外国書]					電子ジャーナル
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点		
	理工学研究科 建築・都市学専攻	893,436 [418,382] (893,436 [418,382])	31,440 [21,489] (31,440 [21,489])	14,025 [14,014] (14,025 [14,014])	35,889 (35,889)	5,703 (5,703)		0 ( 0 )
計	893,436 [418,382] (893,436 [418,382])	31,440 [21,489] (31,440 [21,489])	14,025 [14,014] (14,025 [14,014])	35,889 (35,889)	5,703 (5,703)	0 ( 0 )		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 保存書庫を含む 改修のため (29) 改修のため (30)		
	28,705m <sup>2</sup>	3,437 3,423 3,440 席		2,744,566冊				
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				体育館には駿河台スナール、中野多目的ホールを含む 改修のため (29)		
	15,752 15,622-42 m <sup>2</sup>	バレーコート、テニスコート、ゴルフ練習場、プール等						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	3,966千円	3,987千円	図書購入費	14,105千円	13,797千円	13,983千円
	共同研究費等	30,494千円	30,738千円	設備購入費	188,172千円	176,475千円	173,962千円	
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,120千円	920千円	一千円	一千円	一千円	一千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		補助金、資産運用の果実及び寄付金その他収入をもって維持運営する。						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成29年4月)	届出のため該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (30年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)			

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。

その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<理工学研究科 建築・都市学専攻（博士前期課程）>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	設置計画変更該当する事項なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

全学的な教育支援体制に係る諸施策の立案及びその推進を通じて、組織的かつ継続的に教育内容及び教育技法の改善を行うことにより、効果的な教育活動の実践を支援・促進することを目的として明治大学教育開発・支援センターを設置している。

また、大学院においては、各研究科長を構成員とする大学院教育改革推進委員会を設置している。

さらに、本研究科では、理工学部と教員資質開発委員会（FD委員会）を設置している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

理工学研究科（理工学部）の教員資質開発委員会（FD委員会）の委員は、研究科長（学部長）が氏名する委員長1名、研究科執行部1名、学部執行部2名および各専攻（学科）より選出された各1名の委員で構成される。年1、2回程度開催され、ほぼ全員が出席している。

c 委員会の審議事項等

教育理念、教育目標を広く社会に公表し、専任教および兼任教員がそれらを実現するための教育内容・方法について、研究、研修を組織的に進めることを目的とし、そのために必要な事項に関して審議立案している。

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 大学院委員会主催による新任教員のための研修会（大学院教育懇談会）への参加
- ・ FD講演会・勉強会の開催、運営（平成29年度は2回実施）
- ・ 研究交流会（生田サロン）への参加
- ・ 安全・教育講習会「薬品講習」「高圧ガス講習」「エックス線講習」への参加

b 実施方法

研究科委員会（教授会）で周知を行い、幅広い教員の出席を促し、本学院の教育理念・人材養成の目的等を再確認するとあわせて情報共有を行う。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

平成29年4月15日 大学院教育懇談会（9名）  
 平成29年6月2日 FD講演会・勉強会（31名）  
 平成29年7月14日 生田サロン（25名）  
 平成29年10月6日 FD講演会・勉強会（49名）  
 平成29年12月12日 生田サロン（25名）  
 ＊上記参加者は大学院担当でない学部教員も含む。

講演内容や交流会の内容を各専攻会議および研究科委員会（合同教授会）を通じて情報共有を図っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

博士前期課程・博士後期課程の修了予定者を対象に授業運営及び教育・研究環境改善を目的とした授業実施状況に係るアンケート調査を実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は、研究科執行部及び大学院執行部に報告を行い、情報を共有している。

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本専攻は平成29年4月に専攻再編を行い、博士前期課程は80名の入学定員に対し、113名の出願があり、83名が入学した。国際的持続性社会の発展に寄与する教育体系を構築し、建築学術の体系を踏まえた人間環境の持続的発展への貢献や、国際的な環境で建築・都市の創造・再生への貢献、国際的視野に立って、環境・社会・文化の持続可能な発展への貢献など、建築・都市学全般に対する柔軟な発想と特定分野における専門性を有し、かつ国際性豊かな高度専門職業人の養成の実現に向けた研究活動を開始している。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

・平成31年3月下旬 公表予定

##### b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（平成31年3月末を予定）

<http://www.meiji.ac.jp/koho/about/hyouka/self/index.html>

#### ③ 認証評価を受ける計画

・平成26年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受け、平成27年3月に適合の認定を受けた。

<http://www.juaa.or.jp/search/detail.php?id=336&page=1#result1>

・建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系の前身である建築学専攻国際プロフェSSIONALコースは、平成27年10月に日本技術者教育認定機構（JABEE）の審査を受け、平成28年3月にJABEE技術者教育プログラムの認定を受け平成26年度卒業生からプログラム修了生を輩出している。平成27年4月の専攻再編に伴う変更については平成29年5月に届出を行った。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (  有  無 )

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成30年 7月頃公表予定)

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人明治大学

## (2) 大学名

明治大学大学院

## (3) 大学の位置

【生田キャンパス】〒214-8571  
神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1

【中野キャンパス】〒164-8525  
東京都中野区中野4-21-1

(〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	( ヤナギヤ タカシ ) 柳谷 孝 (平成28年5月10日)		
学長	( ツチヤ ケイイチロウ ) 土屋 恵一郎 (平成28年4月1日)		
大学院長	( サカモト ツネオ ) 坂本 恒夫 (平成28年4月1日)	( イシカワ マサト ) 石川 幹人 (平成30年4月1日)	大学院長交代 (30)
研究科長	( クボタ ヒサオ ) 久保田 寿夫 (平成28年6月16日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
理工学研究科 建築・都市学専攻 (博士後期課程) 博士(工学・建築学・学術)	工学関係	年 3	人 7	人 21	基礎となる学部等  理工学部 建築学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 7 ( - ) [ - ]	人 ( ) [ ]	人 7 ( - ) [ - ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	0.56倍	
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	6 ( 2 ) [ 0 ]	- ( - ) [ - ]	3 ( 1 ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	6 ( 2 ) [ 0 ]	- ( - ) [ - ]	3 ( 1 ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	5 ( 2 ) [ 0 ]	- ( - ) [ - ]	3 ( 1 ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	5 ( 2 ) [ 0 ]	- ( - ) [ - ]	3 ( 1 ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A			0.71		0.42					

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。



(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ ] ( )	[ ] ( )	5 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	3 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	H29年度に4名(2年次、3年次各2名)の転専攻者がいる。
2年次	/		2 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	5 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
3年次			2 [ 2 ] ( - )	- [ - ] ( - )	3 [ 2 ] ( 1 )	- [ - ] ( - )	
計	[ ] ( )	[ ] ( )	9 [ 2 ] ( - )		11 [ 2 ] ( 1 )		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
平成28年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
平成29年度	9 人	1 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	1 人	0 人	その他(オーバードクターとなり論文提出が難しいため)(1人)
平成30年度	11 人	0 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
合計	20 人	1 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{9} = \boxed{11.11} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{11} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<理工学研究科 建築・都市学専攻（博士後期課程）>

### (1) ① 授業科目表

#### 【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	(研究指導)	1~3				11	4					

#### 【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	(研究指導)	1~3								13	1	

#### 【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	(研究指導)	1~3				12	3					

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。  
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。  
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。  
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除し、詰めてください。  
 （2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）

### (1) ② 授業科目表に関する変更内容

#### 【平成29年度】

担当者の昇格により、「研究指導」の専任教員配置を「教授11・准教授4」から「教授12・准教授3」に変更。

#### 【平成30年度】

教授1名の早期退職及び担当者の昇格により、「研究指導」の専任教員配置を「教授12・准教授3」から「教授13・准教授1」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。  
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

### (2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	博士学生請求論文作成のための研究指導を行っているが、科目設置はない。
				[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	255,985 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	255,985 m <sup>2</sup>	大学全体			
	運動場用地	164,625 369,974 242,724 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	164,625 369,974 242,724 m <sup>2</sup>	その他には農場、寄宿舎、借用地、附属学校施設を含む。			
	小 計	420,610 625,959 498,709 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	420,610 625,959 498,709 m <sup>2</sup>				
	そ の 他	433,685 548,725 700,753 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	433,685 548,725 700,753 m <sup>2</sup>	区分変更のため (29)			
	合 計	854,295 1,174,684 1,199,462 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	854,295 1,174,684 1,199,462 m <sup>2</sup>	農場売却のため (30)			
(2) 校舎	専 用	323,489 319,203 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	323,489 319,203 m <sup>2</sup>	大学全体			
	( 323,489 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	( 323,489 m <sup>2</sup> )		改修のため (29)			
(3) 教室等	講義室	287 282 室	228 209 室	461-451 450 室	29 30室 補助職員 38 39 人	29 15 16 22-室 補助職員 20 24 人	大学全体 改修のため (29) 施設縮小に伴い減員 (29)		
	情報処理学習施設					改修のため (30) 施設縮小に伴い減員 (30)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	理工学研究科 建築・都市学専攻			15 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学共有分図書数 2,682,764 [919,668] 学術雑誌数 38,330 [13,308] 電子ジャーナル数 14,044 [14,031] 視聴覚資料は大学全体	
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル					
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点			
	理工学研究科 建築・都市学専攻	900,129 [419,589] (893,436 [418,382])	31,440 [21,489] (31,440 [21,489])	14,025 [14,014] (14,025 [14,014])	35,889 (35,889)	5,703 (5,703)	0 ( 0 )		
計	900,129 [419,589] (893,436 [418,382])	31,440 [21,489] (31,440 [21,489])	14,025 [14,014] (14,025 [14,014])	35,889 (35,889)	5,703 (5,703)	0 ( 0 )			
(6) 図書館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 保存書庫を含む 改修のため (29) 改修のため (30)		
	28,705m <sup>2</sup>		3,437 3,423 3,440 席		2,744,566冊				
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				体育館には駿河台ス キムル、中野多目的ホ ールを含む 改修のため (29)		
	15,752 15,622.42 m <sup>2</sup>		バレーコート、テニスコート、ゴルフ練習場、プール等						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当たり研究費等	3,966千円	3,987千円	図書購入費	14,105千円	13,797千円	14,173千円	
	共同研究費等	30,494千円	30,984千円	設備購入費	188,172千円	176,475千円	171,484千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,050千円	850千円	850千円	一千円	一千円	一千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		補助金、資産運用の果実及び寄付金その他収入をもって維持運営する。							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成29年4月)	届出のため該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (30年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)			

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。

その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<理工学研究科 建築・都市学専攻（博士後期課程）>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	設置計画変更該当する事項なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

全学的な教育支援体制に係る諸施策の立案及びその推進を通じて、組織的かつ継続的に教育内容及び教育技法の改善を行うことにより、効果的な教育活動の実践を支援・促進することを目的として明治大学教育開発・支援センターを設置している。

また、大学院においては、各研究科長を構成員とする大学院教育改革推進委員会を設置している。

さらに、本研究科では、理工学部と教員資質開発委員会（FD委員会）を設置している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

理工学研究科（理工学部）の教員資質開発委員会（FD委員会）の委員は、研究科長（学部長）が氏名する委員長1名、研究科執行部1名、学部執行部2名および各専攻（学科）より選出された各1名の委員で構成される。年1、2回程度開催され、ほぼ全員が出席している。

c 委員会の審議事項等

教育理念、教育目標を広く社会に公表し、専任教および兼任教員がそれらを実現するための教育内容・方法について、研究、研修を組織的に進めることを目的とし、そのために必要な事項に関して審議立案している。

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 大学院委員会主催による新任教員のための研修会（大学院教育懇談会）への参加
- ・ FD講演会・勉強会の開催、運営（平成29年度は2回実施）
- ・ 研究交流会（生田サロン）への参加
- ・ 安全・教育講習会「薬品講習」「高圧ガス講習」「エックス線講習」への参加

b 実施方法

研究科委員会（教授会）で周知を行い、幅広い教員の出席を促し、本学院の教育理念・人材養成の目的等を再確認するとあわせて情報共有を行う。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

平成29年4月15日 大学院教育懇談会（9名）  
 平成29年6月2日 FD講演会・勉強会（31名）  
 平成29年7月14日 生田サロン（25名）  
 平成29年10月6日 FD講演会・勉強会（49名）  
 平成29年12月12日 生田サロン（25名）  
 ＊上記参加者は大学院担当でない学部教員も含む。

講演内容や交流会の内容を各専攻会議および研究科委員会（合同教授会）を通じて情報共有を図っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

博士前期課程・博士後期課程の修了予定者を対象に授業運営及び教育・研究環境改善を目的とした授業実施状況に係るアンケート調査を実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は、研究科執行部及び大学院執行部に報告を行い、情報を共有している。

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本専攻は平成29年4月に専攻再編を行い、博士後期課程は7名の入学定員に対し、3名の出願があり、3名が入学した。国際的持続性社会の発展に寄与する教育体系を構築し、建築学術の体系を踏まえた人間環境の持続的発展への貢献や、国際的な環境で建築・都市の創造・再生への貢献、国際的視野に立って、環境・社会・文化の持続可能な発展への貢献など、建築・都市学全般に対する柔軟な発想と特定分野における専門性を有し、かつ国際性豊かな高度専門職業人の養成の実現に向けた研究活動を開始している。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

- ・平成31年3月下旬 公表予定

##### b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（平成31年3月末を予定）  
<http://www.meiji.ac.jp/koho/about/hyouka/self/index.html>

#### ③ 認証評価を受ける計画

- ・平成26年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受け、平成27年3月に適合の認定を受けた。

<http://www.juaa.or.jp/search/detail.php?id=336&page=1#result1>

- ・建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系の前身である建築学専攻国際プロフェSSIONALコースは、平成27年10月に日本技術者教育認定機構（JABEE）の審査を受け、平成28年3月にJABEE技術者教育プログラムの認定を受け平成26年度卒業生からプログラム修了生を輩出している。平成29年4月の専攻再編に伴う変更については平成29年5月に届出を行った。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (  有  無 )

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成30年 7月頃公表予定)